

鳥取県立図書館からの報告

(対象期間：令和6年12月～令和7年11月)

(報告者) 鳥取県立図書館

郷土資料課 三田 祐子

1. 資料展示

(1) 特別資料展示 (特別資料展示室における展示)

| 年度 | 期間 | タイトル | 入場者 |
|-------|-----------|--------------------------------------|--------|
| 令和7年度 | 8/13～9/23 | 「戦後80年 県民の継承のいとなみ ー戦争体験の想起とこれからの伝承ー」 | 1,135人 |

(2) ミニ展示・企画展示 (郷土資料室及び一般図書室の展示スペースを利用した展示)

| 年度 | 期間 | タイトル |
|-------|------------|-----------------------------------|
| 令和6年度 | 11/15～1/9 | 映画「ルート29」公開記念 鳥取県が登場する文学作品をご紹介します |
| | 2/1～2/27 | 鳥取県立美術館開館直前！ふるさとの芸術家 |
| | 2/1～2/27 | 追悼 鳥取県ゆかりの著名人 |
| | 2/27～3/30 | 令和6年度「鳥取県文化功労賞」受賞者紹介 |
| | 3/1～4/9 | 絵本で知るとっとりけん |
| 令和7年度 | 4/11～6/11 | 資料から読む鳥取大火 |
| | 5/1～6/11 | 水本俊也写真展 「たくさんのふしぎ 風が描く絵 鳥取砂丘」 |
| | 6/13～9/10 | 水木しげると妖怪 |
| | 7/11～9/10 | 絵本『こんとあき』パネル展 |
| | 9/12～9/29 | 鳥取県ができるまで～9月12日はとっとり県民の日～ |
| | 10/1～12/10 | 生誕140周年記念 明治大正を駆け抜けた尾崎放哉が残したもの |

2. 講演会・行事

(1) 鳥取県に伝わる昔話を聞く会 (定期開催)

日時：毎月第4土曜日 午後2時から30分程度

語り手：中嶋 須美子 氏

(2) 郷土文学者情報発信事業

『やつれみのの日記』の翻刻作成・公開及び崩し字で書かれた作品を解読するワークショップ

日時：令和7年3月14日

講師：入江 宜明 氏 (元若桜町立わかさ生涯学習情報館長、郷土史家)

3. 研修・講座

(1) 新任図書館員を対象とした実務研修会 (継続)

県内図書館の新任職員等を対象にした研修会。「郷土資料の収集と保存・基本的な本の扱い方」を講義。令和7年5月16日開催 (年1回)。

(2) 行政職員向け研修「図書館に学ぶ！1ランク上の情報収集講座」 (継続)

鳥取県人材開発センターとの共催企画。県及び県内自治体職員の研修講座として「図書館を活用した情報収集講座」を開催。図書やインターネットを活用した情報収集、郷土資料の活用法についての講義を行った。平成18年度より継続開催。令和7年9月5日に開催。

(3) 市町村立図書館等の職員を対象とした研修会

大山町学校図書館司書研修会 (主催：大山町立図書館) で「郷土資料の活用と収集」を講義。令和7年9月30日に開催。参加者は学校司書、公共図書館職員、町教育委員会職員。

4. 外部との連携

本庁知事部局の進める政策・イベント関連など、互恵関係のある展示を継続して開催している。

5. 統計および資料保存の取り組み等

(1) 統計

利用状況（郷土資料） 鳥取県立図書館のすがたより

| | 貸出冊数（一日あたり） | レファレンス（※） |
|---------|-----------------|-----------|
| 令和 6 年度 | 4,717 冊（14.6 冊） | 3,712 件 |
| 令和 5 年度 | 5,064 冊（15.5 冊） | 4,207 件 |
| 令和 4 年度 | 5,383 冊（16.5 冊） | 3,908 件 |
| 令和 3 年度 | 6,266 冊（19.3 冊） | 3,709 件 |

※ 蔵書検索、書架案内を含む

蔵書冊数（郷土資料）

| | |
|---------|-----------------------|
| 令和 6 年度 | 159,532 冊（全蔵書の 12.3%） |
| 令和 5 年度 | 156,685 冊（全蔵書の 12.3%） |
| 令和 4 年度 | 153,818 冊（全蔵書の 12.3%） |
| 令和 3 年度 | 151,710 冊（全蔵書の 12.3%） |

※令和 6 年度 2,847 冊増加（購入：418 冊 寄贈：2,301 冊 生産・その他：129 冊 除籍：1 冊）

(2) 郷土関係情報の収集およびデータ入力

①図書、逐次刊行物等の収集

②郷土関係情報の入力・発信

- ・「鳥取県郷土人物文献データベース」の新規文献情報の入力
- ・図書、雑誌、研究報告書等の目次・論文名の入力
- ・ホームページの更新（展示・行事の広報、コンテンツの更新）

③郷土関係情報の収集

- ・新聞記事のスクラップ（地元紙・全国紙より鳥取県に関する記事をスクラップ）

6. 事例等報告

(1) 事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・特別資料展「戦後 80 年 県民の継承のいとなみ ー戦争体験の想起とこれからの伝承ー」は、県福祉保健課と連携し、新聞やテレビ等でも取り上げていただき、1,000 人を超える来場者があった。また、水木しげる氏の直筆原稿（鳥取県立図書館所蔵）や日本赤十字社鳥取県支部の救護班に関する資料（日本赤十字社鳥取県支部蔵）、小学生が作成した戦禍を伝える紙芝居（大山町立図書館蔵）などを展示し、戦時下の鳥取や戦争体験の伝承活動等を知っていただく機会となった。
- ・鳥取県を発信する企画展示など、ニュース性の高いテーマや郷土人物を取り上げた展示を実施した。例えば、水木しげるの展示（令和 7 年 6 月 13 日から 9 月 10 日まで）は、鳥取県立美術館での展覧会の開催に合わせて実施し、展示した資料の貸出も多かった。展示を開始した 6 月には、デジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」で水木しげるの人物情報を検索する件数が増加した。